



岐阜県現代陶芸美術館

Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

陶芸の現代をテーマとして、世界各地の近現代の陶芸作品を収集し、さまざまな展覧会を開催していきます。さらには、陶磁器を通じた人的ネットワークの構築や、地域との連携などを視野に入れた活動も展開しています。

開館時間 ■ 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 ■ 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

2025年6月16日～6月27日、9月29日～10月10日、

2025年12月29日～2026年1月3日、

2026年3月16日～4月上旬(予定)

企画展 ■ 一般340円(団体280円)

(コレクション展) 大学生220円(団体160円)

観覧料 *団体は、20名以上となります。

*特別展については、別料金となります。

なお、特別展開催時は、特別展観覧券で企画展(コレクション展)も観覧できます。

*高校生以下(未就学児を含む)は、特別展を含め、すべて無料です。

*以下の手帳をお持ちの方、および付き添いの方1名まで、無料です。

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、

特定医療費(指定難病)受給者証・登録者証

住所 ■ 〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)

電話番号 ■ 0572-28-3100 FAX番号 ■ 0572-28-3101

美術館HP ■ <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

General Information

Hours ■ 10:00-18:00 (Visitors admitted until 17:30)

Closed Days ■ Closed on Mondays

(Open on holiday Mondays and closed on the following weekdays)

June 16 - June 27, September 29 - October 10, 2025

December 29, 2025 - January 3, 2026

March 16 - early April, 2026

Admission Fees ■ Adults ¥340 (¥280 per person for groups of 20 or more)

College and university students ¥220

(¥160 per person for groups of 20 or more)

* Additional admission charges apply during special exhibitions.

* Free admission for primary and secondary school students.

* Persons with disability or with intractable disease and one person accompanying them are admitted free of charge.

Address ■ 4-2-5, Higashi-machi, Tajimi-city, Gifu-prefecture, 507-0801

TEL / FAX ■ +81-572-28-3100 / +81-572-28-3101

公共交通機関でのアクセス

■ 東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え

・名古屋→多治見 快速35分

■ JR中央本線多治見駅から

・タクシー 約10分

・多治見市コミュニティバス オリベ観光ルート 約20分

「セラミックパークMINO」下車(土・日・祝のみ)

・東鉄バス「瑞浪駅前」行き、「妻木上郷」行き、「駄知」行き 約15分

「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車 徒歩約10分

お車でのアクセス(駐車場無料 一般312台収容)

■ 東京方面:東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由

■ 富山方面:東海北陸自動車道→美濃関JCT経由

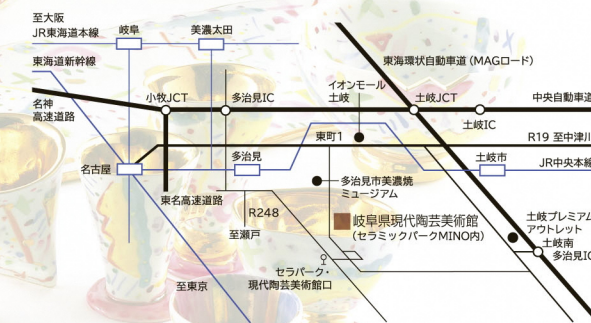
■ 長野方面:中央自動車道→土岐JCT経由

→東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分

■ 大阪方面:名神高速→小牧JCT経由

→中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分

→東町1の交差点を右折



川口 淳《色絵近彩楽園文磁器:夢の日記の器たち》1999-2000年 岐阜県現代陶芸美術館蔵



Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

岐阜県現代陶芸美術館

展覧会スケジュール 2025-2026

*催しの詳細および特別展観覧料は、美術館ホームページにてご確認ください。

URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>



Exhibition Schedule

2025-2026



展覧会スケジュール			2025/3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026/1	2	3	
ギャラリーⅠ 【特別展】			卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展 3/29～6/1			休館	伊藤慶二 祈・これから 6/28～9/28			休館	タピオ・ヴィルカラ 世界の果て 10/25～1/12			ティーカップ・メリーゴーラウンド ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年 1/24～3/8		施設工事 のため 休館
ギャラリーⅡ 【企画展】			展示室A (2F)	MoMCAグローイング・プロジェクト		香りとやきもの一掌のうつわからオブジェまで 6/16～6/27										3/16～ 4月上旬
			展示室B (3F)	コレクション・ハイライト		コレクション・ハイライト										
			展示室C,D (3F)			令和6(2024)年度新収蔵品展I										
					～4/13		4/26～6/15									

ギャラリーⅠ【特別展】

卒寿記念
人間国宝 鈴木藏の志野展
Shino Type by SUZUKI Osamu,
a Living National Treasure: In commemoration of
his ninetyeth birthday
2025年3月29日(土)－ 6月1日(日)



鈴木藏《志野茶碗》2023年 個人蔵

美濃陶芸の現在を代表する重要無形文化財「志野」の保持者（人間国宝）、鈴木藏（1934年生まれ）の力強い表現力を紹介します。薪窯でしかできないとされていた志野をガス窯で焼成し、美濃桃山陶の伝統表現を現代の心と技で革新してきました。卒寿を機に開催される本展では、70年以上にわたる作陶の軌跡をたどるとともに、鈴木の志野の真髓に触れていただきます。

いのり
伊藤慶二 祈・これから
Ito Keiji: Prayer—Now, the Future
2025年6月28日(土)－9月28日(日)
【ギャラリーⅠ・Ⅱ】

岐阜県土岐市出身、現在も同地を拠点に制作を続ける伊藤慶二（1935年生まれ）のボーダレスな表現を紹介する展覧会です。1970年代初頭に発表された《HIROSHIMA》シリーズをはじめ、人と社会、そしてものに対する真摯なまなざしから生まれるその作品は、静かな存在感で見る者に迫ります。器やオブジェといったジャンルへのカテゴライズを厭い、多様なメディウムを取り入れ自在に展開してきた活動を辿りながら、その絶えない創作の現在地をご覧ください。



伊藤慶二《胸像》2010-11年 作家蔵

タピオ・ヴィルカラ 世界の果て
Tapio Wirkkala: The Sculptor of Ultima Thule
2025年10月25日(土)－2026年1月12日(月・祝)



タピオ・ヴィルカラ《リーフ・ディッシュ》1950年代、合板
Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection/ EMMMA - Espoo
Museum of Modern Art. ©Ari Karttunen/ EMMMA

フィンランドのモダンデザイン界で圧倒的な存在感を放つタピオ・ヴィルカラ（1915-1985）の日本初となる回顧展です。デザインのフィールドでは、ガラスや磁器、銀食器、宝飾品、照明、家具、グラフィックにおよびます。また、自ら開発した積層合板「リズミック・プライウッド」を用いたオブジェも制作しました。プロダクトやオブジェ約300点により、デザイナー、彫刻家、造形作家としての、繊細にしてダイナミックなヴィルカラの魅力に迫ります。

ティーカップ・メリーゴーラウンド
ヨーロッパ陶磁にあるモダンデザイン100年
Teacup Merry-Go-Round
100 years of the European Modern Ceramic Design
2026年1月24日(土)－3月8日(日)

当館では2002年の開館以来、モダンデザインの系譜につながる西洋陶磁器を収集してきました。展覧会では19世紀半ばから約100年間に焦点を当て、ドイツのマイセン、フランスのセーヴル、イギリスのミントン、デンマークのロイヤル・コペンハーゲン、フィンランドのアラビアなどのティーウェアやコーヒーウェアを中心に、室内装飾品などを加えた名品を紹介します。



セーヴル《ティーセット「クラウドッド・ブルー」》1876年
岐阜県現代陶芸美術館蔵

ギャラリーⅡ【企画展】

MoMCAグローイング・プロジェクト
光が創る色ニ色が創る光
高校生とつくる居心地のよい場所
MoMCA Growing / Glowing Project
【展示室A】

コレクション・ハイライト
Collection Highlights
【展示室B-D】

－2025年4月13日(日)

香りとやきもの
一掌のうつわからオブジェまで
Scent and Ceramics: From Small Vessels to Objects
【展示室A】

コレクション・ハイライト
Collection Highlights
【展示室B】

令和6(2024)年度新収蔵品展Ⅰ
Exhibition of the New Acquisition in 2024Ⅰ
【展示室D】

2025年4月26日(土)－6月15日(日)

美濃陶芸の系譜
The Genealogy of Mino

若尾利貞展
WAKAO Toshisada
2025年10月11日(土)－11月24日(月・休)
【展示室A】

安藤日出武展
ANDO Hidetake
2025年11月29日(土)－2026年1月25日(日)
【展示室A】

玉置保夫展
TAMAOKI Yasuo
2026年1月31日(土)－3月15日(日)
【展示室A】

令和6(2024)年度新収蔵品展Ⅱ
Exhibition of the New Acquisition in 2024Ⅱ
【展示室B】

コレクション・ハイライト
Collection Highlights
【展示室C,D】

2025年10月11日(土)－2026年3月15日(日)



Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

もむか

岐阜県現代陶芸美術館(MoMCA)の教育普及プログラム

岐阜県現代陶芸美術館では、様々な教育普及プログラムを開催しています。

知るワークショップ

素材や技法を理解したり、作家の見方や考え方、海外の文化を知ったりするなど、体験しながら多様に学ぶワークショップです。
●要事前申込 ●要制作費

季節のワークショップ

季節にあわせたやきもの表現に取り組むワークショップです。
●要事前申込 ●要制作費

もむかのMoMCAの小さな図工室

展覧会を見て感じたことを色や形に残してお土産にして持ち帰ります。誰でも気軽に立ち寄って参加できる、造形ワークショップです。
●事前申込不要 ●参加無料

ギャラリートーク

当館学芸員が展示案内をします。作品に対する専門的な理解を深めていただけます。
●事前申込不要 ●参加無料（要観覧券）

MoMCAやわらかアート・ツアー

感じたことや見つけたことをもとに、楽しく対話しながら展覧会を鑑賞します。子どもも大人も気軽に楽しめる、「やわらかい」鑑賞ツアーです。
●事前申込不要 ●参加無料（要観覧券）

先生と先生のたまごのための美術鑑賞会

開催中の展覧会で鑑賞プログラムを体験する鑑賞会です。鑑賞学習に取り組む学校の先生や、教育を学ぶ学生の皆さんはもちろん、鑑賞学習に関心のある方なら、どなたでも参加していただけます。
●要事前申込 ●参加無料

学校美術館 — MoMCAが学校にやってきた! —
当館コレクションから数点を県内小中学校に展示し、児童・生徒および地域のみなさんが鑑賞する機会をつくります。

プログラムの開催日や詳細、その他のイベントにつきましては、美術館ホームページ (https://www.cpm-gifu.jp/museum/) などをご確認ください。